

令和6年度 前期 子ども・若者の提案 結果公表

中学生・高校生の皆様からお寄せいただいた
主な提案の概要とさいたま市の方針をまとめました。

Thank you



つなが竜
又

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

さいたま市では、未来を担う子どもたちからの提案を市政に反映することを目的として「子ども・若者の提案」制度を実施しています。

令和6年度前期は6月20日から7月24日にかけて募集を行いました。

寄せられた提案の概要及び市の方針をまとめたものを公表します。

未来（2050年）の暮らしを支える交通とは？

▶テーマ1 2050年、わたしたちはどのような生活を送っていると思いますか？

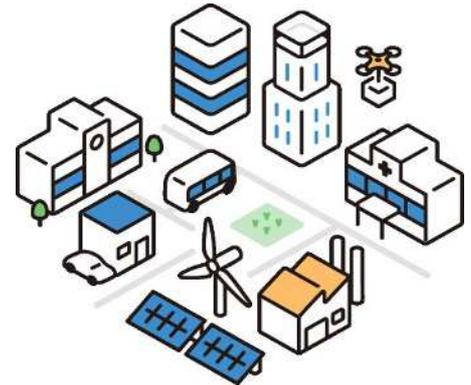
昨今、テクノロジーの進化が急激に進み、人々の価値観も多様化が進んでいます。

交通を取り巻く環境も、100年に一度の大変革期といわれ、新たな乗り物や移動の仕組みなどが次々と登場し、自動運転も社会実装に向けて各地で様々な取り組みが進められています。

また、コロナ禍を経て、リモートでの授業や会議なども増加し、オンラインショッピングもますます利用が増えるなど、この数年でも大きな変化が起きています。

こうした中、これからの30年でわたしたちの生活や『まち』はどのように変わっていくと思いますか？

あなたの考えを聴かせてください。



自動運転も進んでいるかな？
移動しないのでできる活動も増えて
いるのかな？

→715人と37グループから、1,028項目寄せられました。

▶テーマ2 誰もが移動できる、持続可能な『まち』にするためには？

一方で、安心して住み続けられる『まち』には、全ての人が自由に、安心して行き来できる移動の手段があることが大切です。

しかし、少子化や高齢化が進み、公共交通機関を利用する人が減少すると、本数が減ったり、廃止されたりして、移動することが困難になる人が増える可能性もあります。

こうした将来の課題も踏まえて、移動できる環境を維持していくために必要なことは何だと思いますか？

あなたの考えを聴かせてください。



バスがなくなったらどうすればいい
だろう？地域の支え合いも大切かも。

→666人と35グループから、829項目寄せられました。

テーマやご意見・ご提案に関する問合せ先

都市局 都市計画部 交通政策課

TEL 048-829-1053

テーマ1：2050年、わたしたちはどのような生活を送っていると思いますか？

提案概要（1）

「テクノロジーの進化により行動が変化する」

寄せられた提案概要

- テクノロジーの急激な進化により、“移動しないことができること”、“一人でできること”が増えていると思います。
- 世界全体であらゆる技術が高性能になり、自動でできることや、今までより人間がやるべき作業が減ることがあると思います。
- レジの店員や医療系、タクシーの運転手など、様々な職業がAI化し、今とは生活の様式が変わっていると思います。
- 今よりもオンラインやリモート等のテクノロジーが大きく発展し、インターネット上でのサービスが進歩するため人々が家から出ないような生活になると思います。
- 今、AIという技術は急速に進歩しています。そのため、生活にAIが組み込まれていくのではないかと考えます。
- テクノロジーの発達により、家でできる仕事や娯楽が増えて、町から人がいなくなると思います。
- どのようなところでもAIが活躍している未来で生活していると思います。例えば、駅の改札だけでなく、コンビニなどでも顔認証システムが使われていて、カードなどを持ち歩かなくても良くなって、カードの紛失がなくなり、今よりも便利な生活になっていると思います。

など314項目

さいたま市の方針

オンライン診療、ネットスーパー、テレワークなど家でできることが増えていく一方で、リアルや対面といったことの重要性は今以上に高まっている可能性もあり、そうした移動を支える交通ネットワークの重要性は変わらないと考えています。また、多様化する生活様式に合わせて移動手段を選択できる環境を整えていくことが重要になると考えています。



提案概要（2）

「地球温暖化などにより行動が変化する」

寄せられた提案概要

- 地球温暖化などの影響により、基本的に家で過ごすようになると思います。
- 温暖化などの環境問題で気温が上がり、気候が大きく変わり、その影響で電気代なども高くなっていると思います。
- 少しずつ持続可能なクリーンエネルギーが発電に使われるようになっている可能性が高いと思います。
- SDG's などに取り組んでいますが、大きな効果があまり出ていないので、環境が今よりも悪くなってしまうそうです。
- 夏は地球温暖化がもっと進んで、暑い中、室内にいると思います。外に出る人は少なく、また、暑さによって、野菜は育ちにくくなり、食糧難に陥っているのではないのでしょうか。
- 人間の活動により、地球環境が悪化し、温暖化が進んでいるため、冬でも夏のようになっているかもしれないと考えます。そのため、政府が電気使用を抑制する法律をつくっており、私たちは便利なものが増えていても逆に不便で大変で嫌な世の中になっていると考えます。
- 地球温暖化の進行を抑えて、誰もがみんな環境の良い街づくりをしていると思います。

など 129 項目

さいたま市の方針

運輸部門における二酸化炭素排出量を削減するためには、マイカー利用から公共交通や自転車・徒歩の移動へ転換を図ることや、環境にやさしいエネルギーで走る車両の導入を促進していくことが重要と考えています。



提案概要（3）

「働き方の変化により行動が変化する」

寄せられた提案概要

- 人間がやっていた仕事のほとんどをAIがやり、ほとんどの人の職がなくなり、AIを発明できる人の職のみが残っていると思います。
- 職業が減っていくという面もあると思いますが、生活が楽しくなるという面もあると思います。
- オフィスがなくなり、ほとんどの仕事がリモートワークに変わると思います。
- 職場にロボットの社員が半数いると思います。
- 人がやっている仕事を基本AIが行うようになることで失業者が増えると思いますが、一方で新しい仕事ができると思います。
- 接客業などの仕事以外の多くをコンピューターなどが担っていると思います。
- 簡単な仕事はAIができるようになり、人間が就職するには高い技術や頭脳が求められるようになると思います。
- リモートワークが普及して、家から出ない人が増えて、通勤のための電車の需要が減るのではないのでしょうか。

など 126 項目

さいたま市の方針

様々な職種でのテレワークが広がることで、職住近接で効率的に働き、家族との時間や自分の趣味の時間を確保できる人も増えると考えられます。

また、働き方が多様化することで、移動需要のピークが緩和されることなども期待できます。今後は、多様化する働き方を踏まえた交通ネットワークをつくることが重要であると考えています。



提案概要（４）

「人口動態の変化により生活環境が変化する」

寄せられた提案概要

- 人口は今より少なくなっていて高齢者の割合がとても多くなっていると思います。
- 働き手が著しく不足して、税金による収入が減ることが予想されます。
- マンションが増えたり、人口が少し増えたりするかもしれません。
- 国際化が進んでおり、今現在の様子からすると、より海外から人が来て、クラスに3、4人、外国人がいるのが当たり前になると思います。
- 若者がより一層都市部に集まり、地方の過疎化が深刻になってくると思います。
- 過疎化が進んで、バスの本数が減ってしまうと思います。
- 少子高齢化により 高齢者が増えることで年金が足りなくなり、若者たちが負担しなければいけない税金が増えるのではないのでしょうか。

など 104 項目

さいたま市の方針

さいたま市の人口は、2035年頃まで微増し、そこから減少に転じているものの、2050年まで人口規模は大きく変化しない予測となっています。また、人口構成としては、約3人に1人が高齢者になっていると予測されています。

今後は、こうした人口動態の変化も見据えながら、高齢者や子ども、子育て世代など、誰もが自家用車に頼らずに移動できる交通ネットワークをつくっていくことが重要であると考えています。



提案概要（5）

「自動運転技術の進歩により、行動が楽になる」

寄せられた提案概要

- 自動運転や、新たな公共交通機関ができれば事故が減り、安全かつ楽に移動することができると思います。
- バスや車などが全自動化して、バスや車の運転手がいなくなり、全自動で目的地まで案内してくれるのではないのでしょうか。
- 交通事故がすごく減っていると思います。危ない時に自動で止まってくれたり、危険を知らせてくれたりとどんどん安全な世の中になっていくと思います。
- 自動運転が導入され、体が不自由な人も安全に移動できるようになっていると思います。そしてどんな人でも読み取れる看板が設置され、移動しやすくなっていると思います。
- 陸上では、自動運転が当たり前になっていて、また、空を利用して、空を飛ぶ乗り物の開発も進んでいると思います。
- 自動運転はトラックドライバーなどの長距離移動で疲れが溜まりやすい職業の方などが楽になるので、日々の日常生活の運転だけでなく、様々な場所で広まっていくと思います。

など 103 項目

さいたま市の方針

自動運転の技術革新は今後の移動を考える上で非常に重要であると考えています。

特に、今後の運転手不足や効率的な公共交通ネットワークの構築の観点では、都心や拠点に向かう路線バスが、自動運転によって高いサービス水準（運行頻度）で走行することで、利便性・アクセス性が向上していることが望ましいと考えています。



提案概要（6）

「新たなモビリティが普及する」

寄せられた提案概要

- 空飛ぶ車が走っていると思います。
- 水素自動車がたくさんあると思います。
- 電動スクーターなどで学校に行ったり、水素自動車に出掛けたりすることが当たり前になっている生活ではないでしょうか。
- 現在とあまり変わっていませんが、ガソリンを使わない電気自動車や水素自動車または他の物質を利用して走ることのできる自動車が普及していると思います。
- 地上だけでなく、空中も活用した交通が主流になっていると思います。
- いろいろなものや人が都市部に集中し、ハイテクな乗り物が普及しているのではないのでしょうか。

など 79 項目

さいたま市の方針

技術革新により、様々なモビリティが登場していることが想定されます。こうした新しいモビリティが導入できる空間を整備していくことが重要であると考えています。



提案概要（7）

「物流が進化する」

寄せられた提案概要

- ・ドローンによる配達が始まっていると思います。
- ・運送業は全てAI・ドローンになっていて、また、買い物が全て宅配になっていると思います。
- ・トラックドライバー不足を解消するために、トラックの自動運転が普及していると思います。

など 51 項目

さいたま市の方針

ヒトだけでなくモノの輸送の効率化やサービスの移動が実現し、公共交通、物流、小売りなど様々なサービスが連携し、より効率化していくことが重要であると考えており、そのためにはドローンによる輸送や自動運転技術の活用は必要になると考えています。



提案概要（8）

「コミュニケーションが希薄になる」

寄せられた提案概要

- ・今よりも〇〇ハラスメントが厳しくなり パソコンなどの技術の発展の影響も合わさり、ますます人と人とが直接コミュニケーションする場が少なくなっていくと思います。
- ・オンラインや「無人〇〇」が増え、人々の関係が無機質なものになっていると思います。なので、もっと人との交流を増やすために相談する場所を街に作ってほしいです。
- ・通信教育が今よりもっとグローバルなものになって、子ども同士の対面でのコミュニケーションが減ると思います。

など 37 項目

さいたま市の方針

オンラインミーティングやネット上でのモノの取引によって、直接的なコミュニケーションは減少する可能性はあると考えられますが、人と人との交流は健康の観点からも重要であることから、コミュニティ活動の場を増やし、誰でもそこへアクセスできる交通手段がある社会を目指すことで、移動を活発化していきたいと考えています。



提案概要（9）

「変化しない・分からない」

寄せられた提案概要

- ・私は正直何も変わらないと思います。あと20年、25年たっても、安全性が…危険性が…となるので、今のままだと思います。
- ・便利なものができているかもしれませんが、生活の根本は変わらないと思います。朝に学校や仕事に行って、夜に帰ってくるなどの根本が変わるとは思えません。
- ・2050年になっても大きな変化はないと思います。自動運転技術は今よりは使われると思いますが、手動が完全になくなることはないと思います。

など26項目

さいたま市の方針

交通を取り巻く環境は大きな変化を迎えていると考えていますが、どのように変化していくかは、技術革新や社会的ニーズなどを見極めながら検討を進めていく必要があると考えています。



提案概要（10）

その他の意見

寄せられた提案概要

- ・物が高くなって、今より質素な暮らしをしていると思います。
- ・都市と地方の経済格差が顕著になるのではないのでしょうか。
- ・地域住民で支え合う、持続可能で災害に強い街で暮らせるようになると思います。

など59項目

さいたま市の方針

いただいた多様なご意見については、今後の計画作成の参考とさせていただきます。



テーマ2：誰もが移動できる、持続可能な『まち』にするためには？

提案概要（1）

「自動運転やLRTなどの新たなモビリティを導入すると良い」

寄せられた提案概要

- ドライバー不足でバスやトラック、タクシーなどが問題となっているので、自動運転を普及させて、ドライバーが必要ないまちづくりをすれば良いと思います。
- 電動キックボードのような誰もが簡単に移動できて、安全なものがあると良いと思いました。
- 宇都宮市のLRTのような仕組みの路面電車を作ると良いと思います。
- 自動運転機能のある車を開発し、車を運転できない高齢者も移動できるようにしたほうが良いです。
- 床が低い路面電車を設置し、車椅子や高齢者にも使いやすいようにすると良いと思います。
- 自動運転レベル5の技術をほとんどの車に導入することで、ドライブをする人が増え、移動しようとする意欲が湧くと思います。
- 最近、高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いの事故が多いので、バスも自動車も自動運転にして、積極的にAIを使ったほうが良いと思います。

など 208 項目

さいたま市の方針

バスやタクシーの運転手不足に対して、将来的には、自動運転がその役割を担うことも期待されている一方、無人運転とするには、技術的にも社会的受容性の観点からも時間を要することが見込まれます。

今後、様々なモビリティの登場により、自家用車に頼らずに、移動できる選択肢が増えることが望ましいと考えています。



提案概要（2）

「移動しやすい環境（バリアフリーや道路整備等）にすると良い」

寄せられた提案概要

- 歩道を広くして、ガードレールなどで交通事故を起きにくくし、安心して歩道を歩けるようにすると良いと思います。
- 車椅子の人が過ごしやすいように、車椅子専用の車両や、広いトイレ、バスに車椅子を置くスペースを増やすと良いと思います。
- 自動車をもっと使えるように道路が整備されていないところを整備してはいかがでしょうか。
- 地面が砂利などで凸凹しておらず、きれいに平らになるように工事したほうが良いと思います。また、急な坂などを誰でも上ったり、下ったりできるようゆるやかにしたほうが良いと思います。
- 高齢者や車椅子の方が乗りやすいよう、ノンステップバスだけでなく、今のようにスロープを乗務員が出さずとも、元からスロープが付いたバスができるとう良くなるのではないのでしょうか。
- 動く歩道を設けると良いと思います。
- より安全な暮らしにするために、道路を広くしたり、運転手の視野が広がるような道に整備したりすることも必要だと思ひます。

など 136 項目

さいたま市の方針

本市では、さいたま市バリアフリー基本構想に定める「みんなが創って育てる共生のまち・さいたま市」の基本理念にのっとり、共生社会の実現に取り組んでいます。また、「さいたま市道路網計画」に定める「東日本の中枢都市“さいたま市”での活動を支え、誰もがいつでも、どんな手段でも、安全かつ快適に移動できる道路ネットワークの実現」の基本理念にのっとり、道路整備等を推進していきます。



提案概要（3）

「公共交通の利便性の向上を図ると良い」

寄せられた提案概要

- バスや電車を行き渡らせ、車を運転できない人や自力で歩行することが難しい人も遠くまで気軽に出掛けられるようにしたほうが良いと思います。
- より便利な交通機関をつくと良いと思います。列車の本数を増やして利便性を重要視したほうが良いです。
- 自家用車などの使用を減らすために、バスのルートや本数、鉄道の本数を増やしたほうが良いと思います。
- 例えば、バスは市の中央はたくさん走っていますが、端の方は、あまり走っていません。そのため、どこの地区にもバスをまんべんなく走らせたほうが良いと思います。
- 各交通機関同士の乗り換えがもっとスムーズになったら良いと思います。
- 自宅から最寄りの駅や停留所まで車で行って駐車し、そこから公共交通機関を利用して目的地まで移動するパークアンドライド方式により公共交通機関の利用を促進させると良いと思います。
- 全ての人々が公共交通機関を使いやすくなるために通勤通学者が多い時間の電車やバスの本数を増やすと良いと思います。

など 133 項目

さいたま市の方針

バスの運転手不足等により、今後は、現在のバス路線ネットワークを維持していくことは困難になると予想されます。限られた人員の中で、市民の生活を支える基幹となるバス路線の運行本数等をいかに維持していくかが重要になると考えています。



提案概要（４）

「環境への負荷を低減するため、再生可能エネルギーを使用すると良い」

寄せられた提案概要

- 自家用車だけでなく、バスや電車などを利用することで二酸化炭素を削減し、地球に優しい環境づくりをすることが大切になってくると思います。
- 電気自動車やハイブリッド車を普及させ、エコに自動車で移動できるようにしたほうが良いと思います。
- 電気を動力とした乗り物（LRTなど）を増やすことが重要で、発電は太陽光発電などの持続可能なエネルギー発電方法を増やすことで、地球環境に優しくなると思います。
- ドローンを風力発電で動かせば、動きながら発電できるので良いと思います。
- 電車の電気を持続可能な発電で作った電気を使うと良いと思います。また、車やタクシーの屋根で太陽光発電をすると良いと思います。
- 自然に優しい燃料を新しく開発することで、長距離移動に対して罪悪感を覚えないため、世界中の人々が世界旅行を楽しめるようになると思います。
- 自転車型のタクシーやバイオマス燃料を使ったバスを走らせることでSDG'sにも配慮できると思います。

など 99 項目

さいたま市の方針

自家用車を活用した移動から、公共交通など環境に優しい移動手段を選択していただくことで、温室効果ガスの排出を削減していくことは重要であると考えています。また、本市では、電気自動車、燃料電池自動車等の普及を促進しており、こうした施策により環境負荷の低減に取り組んでまいります。



提案概要（5）

「公共交通の運賃施策を導入すると良い」

寄せられた提案概要

- 電車やバスの運賃を安くして、多くの人利用しやすいようにすると良いと思います。
- 数千円利用すると一回無料で乗ることができるなど、乗るメリットを作ったり、公共交通機関があまり利用されない時間は、一部予約制にしたりするのも良いかもしれません。
- 公共事業として利益を目的としないバスやモノレールを走らせることが良いと思います。

など 44 項目

さいたま市の方針

運賃割引によって、より多くの市民が公共交通を利用しやすい環境になることが想定されますが、公共交通の持続のためには、採算性も重要であると考えています。一方で、公共交通があることにより、様々な分野への波及効果が見込まれることから、採算性だけではない総合的な観点から持続可能な公共交通ネットワークの構築を検討してまいります。



提案概要（6）

「まちづくりを推進すると良い」

寄せられた提案概要

- 人の移動に注目して考えると活気ある街が良いと思います。そのために、観光客増加を目指す必要があると思います。
- まずは住みやすいまちづくりをして人を集めることが大事だと思います。そうすれば一つのまちに人が集まることもなく、埼玉全体が住みやすい県となります。交通網の不便も解消されると思います。
- スーパーマーケット、学校、病院、仕事場などを住民が歩いて行ける距離に設置することで、車や電車などを使わなくなると考えられます。

など 43 項目

さいたま市の方針

本市は、鉄道沿線に沿った密度の高い土地利用を促進するとともに、駅を中心とする各拠点に都市機能を集約し、それらを公共交通ネットワークで接続する集約型都市構造の形成により、自家用車に過度に依存しないまちを目指しています。

こうした、まちづくりの推進とあわせて、来街者や初めて公共交通を利用される方にも分かりやすい環境整備や情報案内に取り組んでまいります。



提案概要（7）

「少子化対策に取り組むと良い」

寄せられた提案概要

- そもそも人口減少で公共交通機関の本数が減るなら、人口減少を止めるのが先だと思います。
- 少子化対策として、いろいろな場所に保育園、幼稚園、学校などを作り、子育てしやすい環境にすると良いと思います。
- 特に若者が住みやすい制度や子育て支援策など、若者が目を引きやすい市や町にすれば、若者が増え、少子高齢化社会を少しでも緩和できると思います。

など 32 項目

さいたま市の方針

本市の人口は、2035年頃まで微増し、そこから減少に転じているものの、2050年まで人口規模は大きく変化しない予測となっています。また、人口構成としては、約3人に1人が高齢者になっていると予測されています。

今後は、こうした人口動態の変化も見据えながら、高齢者や子ども、子育て世代など、誰もが自家用車に頼らずに移動できる交通ネットワークを作っていくことが重要であると考えています。



提案概要（8）

「公共交通の利用促進や普及啓発を推進すると良い」

寄せられた提案概要

- 移動できる環境を維持していくためには、子どもの頃に交通に興味を持てるような環境を作り、将来そういう職に就きたいと思えるような取組を進めると良いと思います。
- 利用者が減少している公共交通機関が何か利用者にメリットがあるような企画をすれば、利用者も増えると思います。
- 外出した方が良いと思えることをして、適度に公共交通機関を使うようにさせるのはどうでしょうか。

など 26 項目

さいたま市の方針

公共交通の利用促進や外出促進、運転手の人材確保等につながる情報発信、普及啓発については、持続可能な交通体系を構築していくために重要であると考えています。

本市では、公共交通の利用促進のための教育・啓発活動に取り組んでおり、引き続き、多くの市民の皆様へ、情報が届けられるよう取り組んでまいります。



提案概要（9）

「地域での支え合いや交流の活性化を図ると良い」

寄せられた提案概要

- 地域の人々が、自家用車で高齢者や体の不自由な方などの、自力で移動が困難な方を乗せていってあげるなど、地域での助け合いが大切だと考えました。
- 地域での交流を活性化させて交通面での意識を高めていくことを考えた上で、電車やバスの利用率を調べてその地域に合った対策を考えて実行していくことをやるべきだと思います。
- まだ車を運転できる現役世代の方々が買い物や病院に行く際、同じ目的地に行く高齢者を一緒に乗せていく「相乗りボランティア」をすると良いと思います。

など 20 項目

さいたま市の方針

市民一人ひとりが公共交通を支える大切さを理解し、利用することで、市民のニーズに答える適切な交通サービスを維持していくことが重要であると考えています。

ご提案いただいているように、今後は、地域の共助による取組や地域の交通資源を上手く活用していく必要があることから、地域が取り組みやすくなるような仕組みや施策を検討してまいります。



提案概要（10）

「徒歩や自転車の利用促進をすると良い」

寄せられた提案概要

- 歩道と自転車と自動車を完全に分けて、自転車を使うように心掛けると良いと思います。
- 普段から地域の人などとウォーキングなどをして、体力づくりをすることで、歩いて移動できる範囲を増やし、交通手段にあまり負荷がかからないようにすると良いと思います。
- 車を使わず、歩くようにするのが良いです。

など 17 項目

さいたま市の方針

徒歩や自転車といった、いわゆる「アクティブモビリティ」の利用を推進することにより、市民の健康増進、地域経済の活性化、環境保護、交通渋滞の緩和等に繋がると考えられます。引き続き、自家用車からの転換や歩きたくなるまちづくりの推進、自転車の走行環境整備に取り組んでまいります。



提案概要（11）

「シェアリング(シェアモビリティやライドシェア)を推進すると良い」

寄せられた提案概要

- 同じ場所に行きたい高齢者など自分でいつでも利用できる移動手段を持っていない人をまとめて1台の車で送れるような、どこに誰がいて、どこに行きたいのかが分かるアプリを作ると良いです。
- 自動車シェアリングや電動スクーターなどを導入し、地域でシェアしながら活用していくと良いと思います。
- 自転車シェアリングをもっと気軽にできるようにすると良いと思います。

など 16 項目

さいたま市の方針

本市では、駅中心とする拠点へのアクセス性・回遊性の確保に向けて、シェアモビリティ等の利用促進等に取り組んでいるところです。

今後、新たなシェアモビリティが登場していく中で、それぞれの移動手段の特徴を踏まえて多様な選択ができるネットワークの構築に取り組んでいきたいと考えています。



提案概要（12）

その他のご意見

寄せられた提案概要

- 市民からバスのための資金を集めるのはいかがでしょうか。
- 一人ひとりが外に出る意識を持てば良いと思います。
- バスの運転手が減少し、このままではバスがなくなってしまうかもしれないので、運転手の給料を上げると良いと思います。

など 55 項目

さいたま市の方針

いただいた多様なご意見については、今後の計画作成の参考とさせていただきます。



テーマ担当課よりご挨拶

様々なご提案をいただき、ありがとうございました。

いただきましたご意見につきましては、「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン」の改定を進めていく上での参考とさせていただきます。

「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン」の検討状況は、以下のURLから確認できますので、ぜひご覧ください。



SMARTプラン（総合都市交通体系マスタープラン）

<https://www.city.saitama.lg.jp/001/010/018/015/001/index.html>



さいたまSMARTプラン

さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画

▶ プラン改定にむけて今、**検討**しています!



令和6年度 前期

「子ども・若者の提案」へのご協力ありがとうございました



令和6年度前期テーマ

未来(2050年)の暮らしを支える交通とは？

▶テーマ1 2050年、わたしたちはどのような生活を送っていると思いますか？

▶テーマ2 誰もが移動できる、持続可能な『まち』にするためには？

皆さんからいただいた意見・提案は、今後のさいたま市を運営していく上での参考とさせていただきます。

今後も様々なテーマについて募集しますので、若い皆さんならではの意見・提案を、ぜひお寄せください。

また、これまでにいただいた提案は、市政に活かされております。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

「市民の声が反映された例」

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/002/018/index.html>



令和6年 10月 17日



さいたま市

市長公室秘書広報部広聴課

お寄せいただいた主な提案概要と さいたま市の方針についての公表

この冊子は、各区役所情報公開コーナー及び
市ホームページでお知らせしています。

「『子ども・若者の提案』制度」ホームページ

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/002/014/index.html>



問合せ

さいたま市 市長公室

秘書広報部 広聴課 広聴係

直 通 048-829-1931

FAX 048-825-0665

E-mail : kocho@city.saitama.lg.jp